

コーセー 2019 年度 入社式を開催

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、4月1日に本社にて「2019年度 入社式」を行いました。式典には今年度の総合職採用61名(男性31名、女性30名)が出席し、代表取締役社長 小林一俊より下記の内容の訓示を行いました。

化粧品は日本を代表する産業へ

このたび、皆さんが社会に出るにあたり選択された化粧品という産業は、どんなに世の中が変化しようとも、生活に彩りや潤いを与え、人々の心に満足を提供し、世の中を明るくしている。また2016年には初めて輸出が輸入を上回り、今後日本の競争力の一翼を担う産業になるであろうとされている。その意味では、皆さんが当社を選択したことは正しかったと胸を張って言える。日本の化粧品は、ここ数年世界からの評価が高まっていることから、仕事の責任もやりがいも一層高まり、皆さんにとって申し分のない、グローバルな活躍の場が待っている。



当社が目指すべきこと

競争の舞台が「世界」に移りつつあることも踏まえると、これまで以上に、「グローバル」視点を拡大する必要があり、もはや市場を国内と海外に区別せず、世界の市場を「ボーダーレス」に捉えるべきである。そして「デジタル化」や「ネット社会」への対応、流通チャネルの垣根が取り払われつつある状況への対応なども含め、これまでの延長線上に無い取り組みにも積極的にチャレンジし、スピーディに具現化していく必要がある。

“デジタルネイティブ”世代の新入社員の皆さんへ期待すること

2019年は、新天皇即位、消費税改定、東京五輪直前、など、色々な意味で大きな節目の年である。この「転換の局面」に入社した皆さんには特に、「デジタル化」や「ネット社会」への対応を期待する。デジタルの技術をどう活用し、お客さまに提供する付加価値をどう高めて、新たなサービスを創造するかがキーポイントになる。これまでの当社の常識に囚われない「斬新な発想」、「旺盛なチャレンジ精神」とともに今後はますます「スピード感」を期待したい。情報は一瞬で拡散し、一瞬で勝敗が決まるため、変化に先んじて手を打てば、大きな成長を遂げる可能性がある。是非、IT やネットに慣れ親しんできている“デジタルネイティブ”世代の皆さんには、先輩社員を刺激するくらいの存在になって欲しい。そして、自分自身を磨くことを通じて、新たなコーセー像を自分が創っていくという気概を持ち、業務に取り組んで欲しい。

※今年度の美容スタッフ職採用は280名。入社式は、3月22日と3月29日に、コーセー王子研修センター(東京・北区王子)にて行いました。

このニュースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社コーセー 広報室 TEL 03-3273-1514(直通)